



栃木県 みかも山公園
武蔵浦和Jキッズステーション

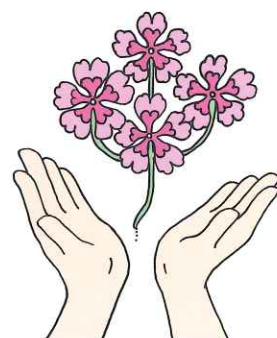
みらい

2014.1
新春号 ⑩

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

- 年頭のあいさつ…P2・3
- 保育士に関するアンケート…P4・5
- 部会活動報告…P6
- わくわくがいっぱい!・編集後記…P7
- 保育園紹介…P8



「子育て3法」と

日本の子育て環境は



一般社団法人さいたま市私立保育園協会 会長 剣持 浩

あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、皆様のご健康ご多幸を祈念すると共に、さいたま市私立保育園協会は、子どもたちが将来の日本の担い手として健やかに育つよう皆様と共に施設環境の充実と発展のために努力してまいりたいと思います。

さて、平成13年に3市（浦和市、与野市、大宮市）が合併すると同時に3市の認可園がさいたま市私立保育園協会として発足しその後岩槻市が合併し平成21年に一般社団法人となり現在に至りました。この間、保育所をめぐる状況は大きく変わりました。

平成13年の新社会福祉法人会計の施行と平成16年の公立保育所一般財源化、平成21年の保育所保育指針改訂、平成25年8月に子ども・子育て3法（「子ども・子育て支援法」「認定こども園法の一部改正する法律」「関連法案の整備に関する法律」）が成立しました。この法律はこれまでの乳幼児が生活する施設の仕組みを変えるものであり、認可園の今後を大

きく左右していくでしょう。

「子育て3法」の 平成27年実施に向けて

昨年4月から内閣府で「子ども・子育て会議」および「基準検討部会」が開催され、法律の具体化と平成27年度実施に向けて着々と準備が進められてきました。幼保連携型認定こども園についてはその認可基準についての大きな内容が提案されました。

たとえば屋外遊技場については「園庭」（幼稚園での名称は運動場）という名称にして面積については提示していませんが「同一敷地内または隣接する位置で確保すること」を原則として代替地の面積参入は不可」とすることや、「1号子ども（支援法第19号1項1号に該当する子ども）2号子どもは学級編成にすることを基本」としながらも、学級規模については選任の「保育教諭」を配置し「1学級の幼児数は、35人以下を原則」とする、とされています。

公定価格については公定価格（基本額）と公定価格（加算）の2本立てにする考え方で進めようとしており、具体的には平成26年4月から6月頃に公定価格の骨格と仮単価が提示され、これに伴って給付金の所要額が決められていくこととなります。いずれにしろきわめて短期間に制度が動き出すことになり、私たちも市町村の行政担当も理解しないまま走り出すのではないかと危惧します。

児童福祉法24条について

24条1項は「保育に欠ける」が「保育を必要とする」に変わったこと、そして市町村の実施義務としての「保育しなければならぬ」という項目は明記されました。民主党が進めていた「子ども・子育て新システム」は、この実施義務をはずして施設と保護者が直接契約する「総合こども園」が目的でした。そして、幼稚園も保育園も10年以内に総合こども園に移行するというのが最初のねらいでした。しかし、地方の保育団体を中心に反対し、24条が守られたのです。

しかし、ここで問題なのは、この法律によつて、就学前の施設が多様になり、おそらく、保護者も含めて混乱が予想されることです。幼保一元化、幼保一体化の流れは一元化ではなく3元化になったのです。文科省管轄の幼稚園、厚労省管轄の保育所、内閣府管轄の認定こども園の3元化です。そして、認定こども園は「幼保連携型認定こども園」「幼稚園型認定こども園」「保育園型認定こども園」があり、その他に地域型保育事業として、

一定の基準に基づいて家庭的保育、小規模保育、居宅型保育、事業所内保育など多岐にわたります。そして、地域型保育と保育園型認定こども園は株式会社への参入は制約がなくなりました。

就学前の多元化する施設と保育

すでに、保育所における最低基準は、守るべき基準、参酌する基準などによつて地方に移譲しました。そして、認可園以外は直接契約になるので、国の「子ども・子育て会議」の「基準検討部会」では認定こども園における保育料は特別教育の名の下に別途料金の徴収が可能となり、保育利用料、認定こども園指針、保育教育内容などの検討がはじまり、来年3月までには骨格が決まられるでしょう。危惧されるのは認定こども園に移行するための財政的な誘導政策によつて、認可園、幼稚園、認定こども園など施設の違ひによつて子どもへの処遇に格差が持ち込まれることです。日本の子どもたちが、多岐にわたる施設と地方にゆだねられた「最低基準」のばらつきによつて就学前の子どもたちの育つ環境に違ひがでてくることは歴然としています。また、幼稚園は私学助成法により助成金が支払われ、保育所は委託費として補助されることは変わりませんが、他の施設は給付として保護者へ支払われることとなります（実際は施設が代理で受領する仕組み）。これは株式会社が参入するためのイコールフィッティングを施すためのものです。同時に認可園の現物支給としての園の建て替えなどの義務を取り外し、減価償却

費を上乗せする方向についても同じ理由によるものです。民主党時代の小宮山厚労省大臣は、株式会社との関係者に対して、株式会社への参入について大きな道を開いたので安心して下さいというようなことを述べていましたがこういうことが背景にあるからです。

株式会社は何をもたらずか

福祉の世界に株式会社が入ってくることで、どんな問題が起こってくるのか、横浜の例を観ればわかります。横浜は他の政令市に比べて人口比に対する保育所設置率は低く、現市長が4年前市長選に立候補するときに、「待機児童を0にする」という公約を掲げて当選しました。

昨年8月に市長選となり公約を掲げた手前、待機児童0にしなければなりません。実際は居室面積については国の最低基準をゆめ、株式会社の参入をうながし、焼却炉の空き地や高架下まで利用して保育園をつくってきました。産休・育休中の人、職を探している人、第一希望しか書いておらず入所できなかった児童については待機児童にカウントされていませんでした。つまり待機児童を0にするための操作が行われたと言われている仕方がないでしょう。安倍総理が横浜に出かけ視察後「横浜方式を全国へ」と待機児童解消のために旗を揚げました。他方、横浜市内でも定員に満たない保育園も出てきている状況です。

認可外施設についても憂慮すべき問題が起きています。昨年の暮れには札幌の施設では1歳児が食べ物をのどに詰まら

せて死亡、横浜の「保育ママ施設」で1歳7ヶ月の子どもが亡くなりました。厚労省の発表では24年度の死亡事故18名のうち、12名が認可外保育園で起こっています。認可外児童数217万人、認可外児童数18万人という比率から見ても認可外の死亡事故発生率は極めて高いと言わなければなりません。

株式会社立の保育園では1年も経たないうちに職員がごっそり退職してしまふ給与が安いために3年で入れ替わる、退職金もないなど、劣悪な環境に置かれています。このような状況をみれば、国が責任を放棄する結果、犠牲になるのは子どもたち、保護者、保育士たちです。

株式会社の参入は保護者にとつては便利で役に立つ、行政にとつてもプラスになると考える人もいます。株式会社のように利潤を目的化するような傾向もあるようです。「競い合ひは必要」「競争は質を高める」と、ある学者は言いました。保育の質をたかめることになるのでしょうか。

東京のある保育園は「保護者のニーズに応える」と言う名の下に、認可園と白園との差別化を訴え、児童獲得に力を注いでいます。手ぶらで登園、名前の記入は一切無し、送迎は希望の場所へ、買い物代行、クリーニング代行もOK、保護者様の洗濯物も朝出せば夕方までに仕上げて持ち帰りOK、ネイルサロン・エステと契約、会員割引、園児の衣類は持ち帰り一切無し、ご入浴、シャワー1回〇〇円、月額〇〇円、記念日サービス1年1回5時間保育料無料……と続きます。「サービスはおそらく都内一番!」と謳っ

ています。保育料は月極月0歳100時間101、200円、160時間で148、000円、220時間で157、080円、その他に延長料金有りとなります。保育の質よりサービスが重視されているのでしょうか?

ここで過ぎた保護者は、認可園に転園したとき、余りの違いに驚くでしょう。持ち帰りも、名前も書かなくて良かったのに、そしてお金を払えば入浴も、夕食も出してもらえて便利さに囲まれた生活が一変するのですから混乱するでしょう。お金で全て解決する保育は何をもたらずのでしょうか?そして、これまで児童福祉法が成立して65年間、子どもの豊かな成長発達を保障してきた長い歴史と保護者支援と子どもの養護・教育を担ってきた社会福祉法人を軸とする児童福祉の役割を再認識しなければなりません。株式会社の参入によつて保育がサービスになり、ニーズに応えるという名の下に、保育の市場化が子どもや保護者、そして保育士に与える影響は決して小さくないだろうと思うのです。

子どもたちのことを最優先に

ある新聞に次のような投書がありました。「横浜市の取り組みが注目を集めている。株式会社参入を積極的に促し受け入れ枠を増やし、働く保護者らの相談に乗る『保育コンシェルジュ』を創設。安倍総理も『横浜方式を全国展開したい』として……待機児童0を目指す方針を打ち出している。しかし、保育の質について懸念する声が上がっている。実際保育の現

場に携わる方によると、預かるのが先決という方針では、子どもも保育士もストレスを抱え、トラブルが多く発生するそう。つまり、親の都合に合わせたサービスを優先することによつて子どもの発達・教育といった視点は置き去りにされてしまうことが起こるのだ。私は行政にもつと子どもの声を大切にしてほしいし親も子どものことを一番に考えるべきだと思う。なぜなら、幼少期の経験がこれからの人生の基盤となるからである」。

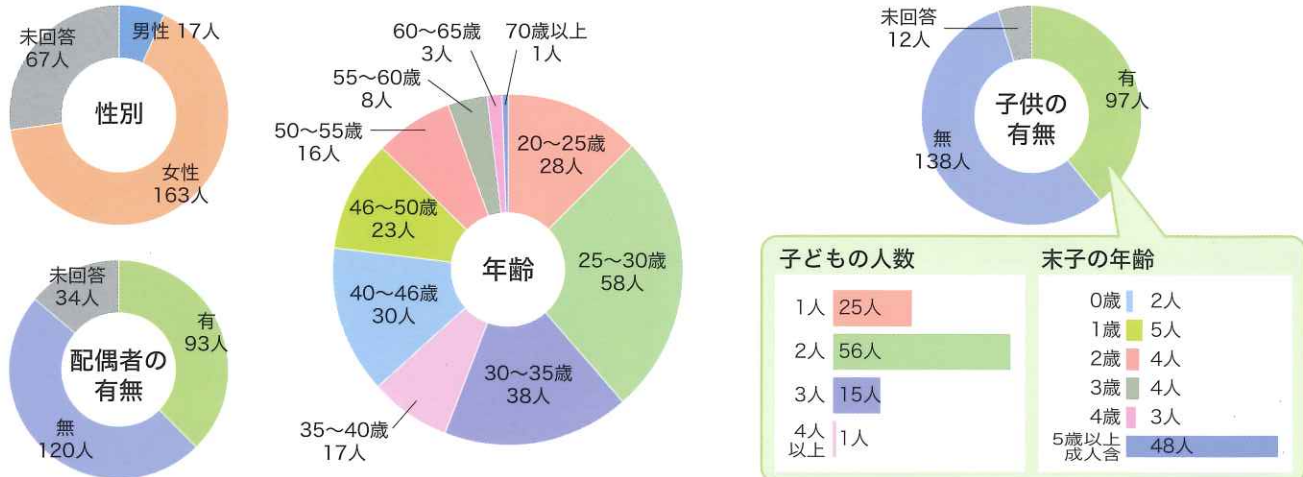
これは東京の高校生の投書です。子どもたちにとつては人生の最初の出会ひである保育施設が豊かな環境と保育内容と人材によつて育つことを願う高校生の言葉を、厚労省などの官僚を含めた時の為政者はどう受け止めるのでしょうか。日本の子どもたちが、時の政府や財政状況によつて振り回されるようなことがあれば、そして、保育の市場化によつて児童福祉の立場が損なわれるようなことになれば取り返しのつかないことになるでしょう。

子ども・子育て支援法第1条で「1人1人の子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与する」と目的が述べられていることや児童福祉法第1条の「児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない」。2項では「全ての児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない」として、その理念を述べています。私たちはこの理念の実現のために努力して参りましょう。

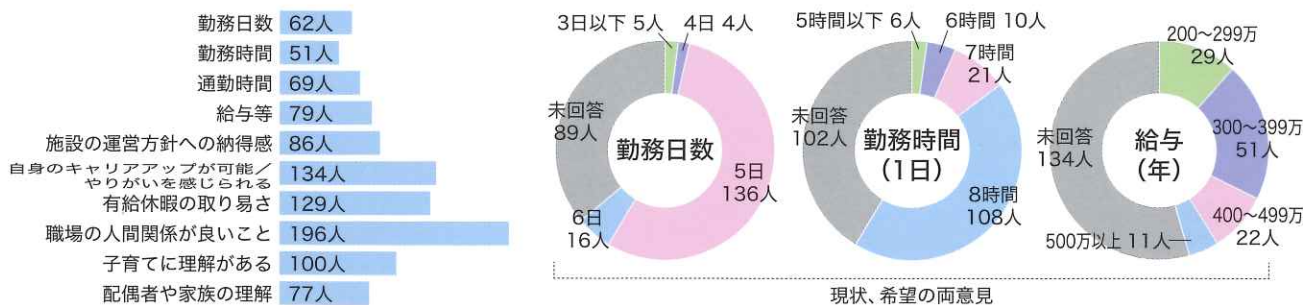
保育士に関するアンケート

今でも小学生の将来の夢の職業の第3位に選ばれる保育士。現在、待機児童の解消について大きく取り上げられています。毎年保育園は新設されていますが、子どもを預けたい親は比例して増加、その一方で、保育園の不足と共に保育士不足の現状が問題視されています。今回のアンケートの結果は、さいたま市私立保育園協会加盟園に勤務する保育士247名の回答を集計しました。

回答者の内訳



保育士として働く場合に求める条件(複数回答可)



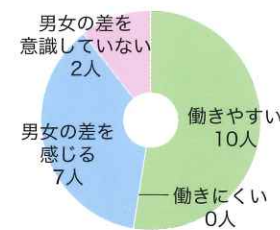
保育士がなぜ現場から離れて行くと思いますか?

- | | | |
|--|--|--|
| 待遇 <ul style="list-style-type: none"> 給与が低い 仕事量、責任の重さ、他職との比較から、国家資格に対して 有給休暇を取らせてもらえない | 先生が不足している為、休めない <ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務時間が多い サービス残業が多い 持ち帰りの仕事が多い | 職場環境 <ul style="list-style-type: none"> 職場での人間関係 保育方針が統一されていない 責任が重い 経営者側と現場との温度差 |
| 保護者 <ul style="list-style-type: none"> 保護者への対応が難しい 保護者とのコミュニケーションがうまくいかず、精神面で疲れる | 家庭 <ul style="list-style-type: none"> 家族の理解、協力がいない 子育て、家庭との両立が難しい | その他 <ul style="list-style-type: none"> 保育士とは人の命を預かる大事な仕事だが、世間は「子守り」という批評のギャップ 保育士への憧れと現実とのギャップ |

保育士不足の原因はどこにあると考えてますか?

- 問2の回答と重複、「賃金の低さ」は90%
- 仕事量、内容に比べて給与が低く、他職に流れてしまうから。
- やりがい(保育[仕事]の魅力)を感じられない。
- 保育の価値を低く見ているから、国が保育園に予算をつけるのが少ない。社会(制度)が原因

男性保育士への質問 回答者数17名(複数回答可)



現在は男性保育士が多くいるので、あまり感じませんが、職場に男性保育士が1人の場合には肩身が狭く感じるがありました。この職を選び、日々、子どもたちからまぶしい程の笑顔や元気をもらっていることや成長をそばで見られることは、選んで良かったと思います。

子どもたちと関わりながら、自分も成長していける職業だと思います。自分自身は特に男性という事に特別な意識はないですが、保護者の中には珍しがられているのかなと思います。

男が家庭を持って、一生の仕事としていくには、(現場) 保育士の給料は少なすぎる。

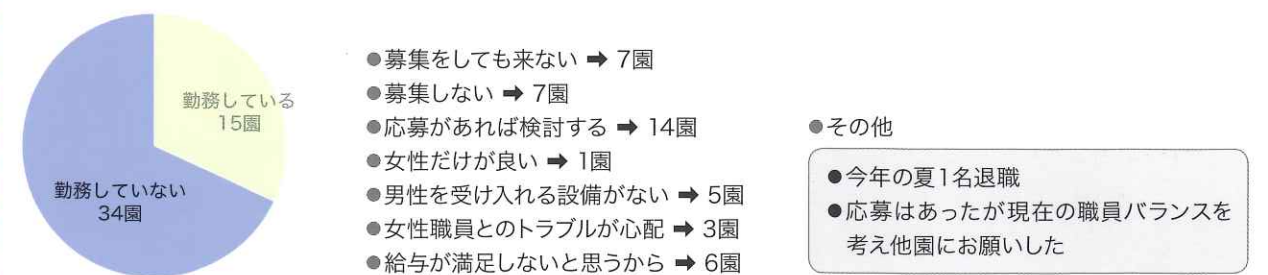
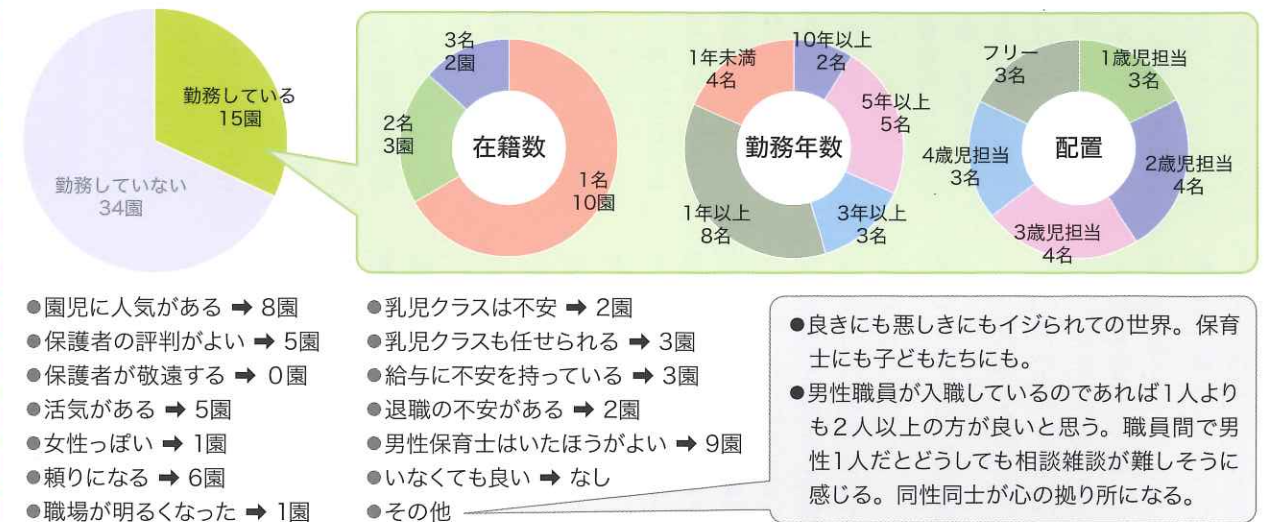
更衣室がないのでトイレで着替えをしている。ちょっぴり切ない…。同級性の男子はみんな辞めている。俺はやめないぞ〜!!

女性職員にはできない事をして行きたいと思います。同じ男性保育士が同じ職場にいる事を感謝しています。これからも男性保育士が増えてくると嬉しいと思っています。

大好きな子どもと毎日関われ、やりたい仕事につけたな〜と思います。だからこそ男性でも一生続けられるよう、「保育士」の待遇を改善してほしいです。もっと、結婚、子育てをしている男性保育士に会ってみたい。

男性保育士に関するアンケート 「男性保育士が勤務していますか」

※74園中49園が回答 回答率67%



①**職場の環境** 「職場における人間関係が良いこと」を保育士の7割以上が望んでいます。人間関係は、どの職場に於いても気にかかること。新人職員は「職場では自分を変える」先輩職員は「伝え方」上司は「雑談力」書店では自分磨きの本が売られています。職員一人一人が作り上げる意識と職場の環境が、保育の充実とやりがいに繋がるように思います。

②**待遇** 保育士の配置は国の基準ですが、有給休暇が取りづらい状況は、余裕の持てない人員配置にも要因が見えます。また、一般企業と比較したとき、賃金は男性が家族を支えるにはかなり厳しい。給与に関しては、理由が9割を超えた。限られた予算の中で運営する側も努力を重ねているが、国、自治体が保育士の業務、果たす役割に目を向け賃金の底上げをしない限り変わることはない。「継続は力」給与が反映することを願う。

部会活動報告

平成25年度 予算対策部会

部長 金子 正年

早いもので、今年も残り数週間となり皆様におかれましては今年最後の行事や次年度の引継ぎ・新面接等で忙しい日々だと思います。当予算対策部も次年度に対する予算要望も終わり部としては、休部中ですが毎年同じ事業の繰返しで、何か予算対策部として要望以外の活動をと考えるところです。

次年度要望に対するアンケート等も早めに依頼・回収をしてもっとみなさまの要望をできるだけ反映できるよう考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成25年度 研修部会

部長 中嶋 貴子

研修へのご参加ありがとうございます。このめまぐるしい毎日を通す中で、前向きな心と豊かな心、自然の潤いの大切さに気付く研修と思います。これからも多数のご参加とご協力をお願いします。参加者の声をお伝えします。

自然体験講座

- 初めて体験する事が沢山あり、自分がだんだん自然に触れて夢中になっていくことができた。
- まだまだ知らない自然があり、毎回楽しく参加している。正しい知識を得て、正しい知識を教え、実践していきたい。

主任研修（選択理論心理士 星野優美子先生）

- 新人教育・コミュニケーション等、まさに悩んでいる内容だったので、とても参考になった。
- 「人間関係を築く方法とレベル」についての話が興味深かった。

主任研修（キャリアコンサルティング技能士 丸山実子先生）

- 実際にコーチング等の技法を実践しながらの講習は、とてもわかりやすかった。
- 話の聴き方ひとつで、相手の気持ちが素直になったり、こちらの思いが伝わりやすくなることを改めて思い、大切だと感じた。

平成25年度 広報部会

部長 和田 喜美

広報部会の会議について、部員全員が進行状況の確認ができるようにと検討した。

会議録の送付は、部員全員への周知を図り、活発な意見、発言は会議の進行をさらに短縮へと繋げることができた。

25年度は、保育会の情報、子育て新システム・認定子ども園について取り上げ、人気の「わくわくがいっぱい」「園紹介」に加え子育て支援センター、保育士の特集記事を掲載し、会員相互の交流を図り、会員と職員の皆様に向けた広報誌を発行した。

【活動】

- 広報誌「みらい」
9号、10号発行
- 取材
- アンケートの実施
- 広報部会・編集会議

【紙面の内容】

- 保育会の情報
- 特集記事
- 部会活動報告
- わくわくがいっぱい
- 園紹介

平成25年度 調査・研究部会

部長 増永 久美子

調査研究部の活動の前半は、横浜市の待機児童対策としてマスコミでも騒がれた「横浜方式」について調べてみました。横浜市保育園協会の方に話を伺ったり、剣持会長の横浜方式聞き取りの懇談に同席させてもらうなどをして、「横浜方式」の問題点などについてまとめました。その内容は、定例会の中でも報告させていただきました。良い学習の機会を与えていただいたと思っています。

また、さいたま市教育委員会・さいたま市幼児教育センターで行ったアンケート「子どもの日常生活と心身の育ちの現状に関する調査」の集計を行いました。昨年度、アンケートをとったので（いくつかの民間保育園にもアンケートの協力をいただきました）今年度は、幼稚園・小学校の先生方と協力し、報告集にまとめる活動に、調査部から代表参加しています。報告集ができましたら皆さんにもご覧いただけたと思います。そして現在は、3月17日の監査指導室との懇談もありますので、アンケートを作成しているところです。各園の質問・要望を聞かせていただけたらと思います。

お忙しい時期ですが、ご協力よろしくお願いします。

平成25年度 食育部会

部長 和田 明子

恒例の調理実習を皆様のご協力の下、今年度も国際学院埼玉短期大学の調理室をお借りし、無事に開催することができました。今年度のテーマは『調理の基本Part.1』として、だしのとり方を学びました。普段は忙しさを理由に、つい簡単に便利な市販のだしを使ってしまうがちですが、手間暇かけた天然のだしは、やはりとても美味しく、何ととっても無添加のものはからだに優しく健康的です。そのだしを利用して「しめじご飯」「鶏のつくね煮」「里芋の旨煮」「すまし汁」を作りました。料理によって一番だし、二番だしと使い分けて利用することも学びました。今回は会長も参加して下さり、一緒に調理されているお姿はとても楽しそうで、また交流も計れて有意義なひとときを過ごすことができました。

アレルギー児が増えている中、調理に携わっている職員は毎日大変なご苦労だと思います。子ども達が無事に成長している姿を見て、その成長のひとつに私共の力も関係しているのだと思うと、このお仕事の素晴らしさを改めて感じる事ができ、一時の苦労など忘れてしまいます。子どもの力ってすごいですね。

今後も食育部では安全で美味しい給食を提供する為、あおぞらウインクルム保育園の大野先生のお力を頂き、学んでいきますのでご参加をお願い致します。

調理実習の様子

（平成25年9月25日）
（広報部による撮影）



剣持会長



和田部長

わくわくが いっぱい!

けやき保育園

やきにくパーティ



寒い季節になると決まって始まる遊びです。先生も呼ばれ、キムチや生ビールも注文して盛り上がります。

プライムキッズガーデン保育所

獅子舞



お正月ならではの行事です。大きな獅子舞にビックリ!! カミカミしてもらい、さあどんな一年になるのでしょう...楽しみです。

おうぎの森保育園

雪あそび



園庭に積もった雪に大はしゃぎ! 寒さを気にせず、夢中になって雪だるま作りや雪合戦を楽しみました。

あおぞらウィンクルム保育園

祝!さいたまクリテリウムbyツールドフランス

記念メニューとしてフランスの家庭料理を給食で提供しました。市長さんと一緒においしい給食を食べ、楽しいひと時を過ごすことができました。



桜花保育園

英語でダンス

子どもたちに大人気の英語でダンス! 英語の歌に合わせて、英語による指導でのダンス教室です!



今羽保育園

寒天ゼリーの作り方(9号より)

- ① 鍋に水と粉末寒天を入れ、かき混ぜながら煮溶かす
- ② ①に好きな色の食紅を適量入れ、よく混ぜて溶かす
- ③ 冷蔵庫に入れ、固まるまで冷やす

特に夏におすすめ。寒天の感触を楽しむだけでなく、色もイロイロ作れるので、型抜きしたり、透明カップに入れたり、遊びが展開することまちがいなし!です。



編集後記

あけましておめでとうございます。

2014年も、子どもたちが大切にされ、幸せな年でありますようにお祈りいたします。

保育制度の改革も、どの方向に進むのか...

二転三転したかに見えた法案も、26年度はいよいよ姿が見えてきます。未来を担う子どもたちを心豊かに育む保育。保護者が安心して預けられる保育園であるように、園長先生、

職員の皆様、今年も手を取り合って頑張ってください。

奮闘する役員、部長会議の写真をピックアップしました。



広報部 和田喜美

保・育・園・紹・介



うらわライトハウス保育園 園長 関口 妙子

平成15年4月にオープンして10年。その以前に7年間20人の定員ではじめていたが、職員や保護者さんの処遇の不均衡をなくすべく理事長とともに認可へと立ち上がりました。施設そのものはいじることなく45定員で認可へ。西から東から交通手段を問わず、駅近という利便性から、一旦下車しての利用をされる方も多く午後8時までの保育は、卒園した子供たち学童、そして一時保育の利用と幅広く保育園としての役目を果たしてきたと思っております。今、同年齢の小さな集団を異年齢保育の形へと変えて子どもたちの自主性を一番に考えた保育へと。日本の家族構成の中で培われてきた縦のちょっと大きなお兄さんお姉さんを眺め、経験を重ね“どうするの”“ちょっと待つ”の声もなしに、“とにかくやってみよう”を主に子どもたちの育ちを見てきました。自然あそびは、見沼田んぼに想いを込めて園外活動として100坪の畑を子どもたちと共に楽しみ畑の労働をしております。大人の利便性と子どもたちの環境をベースに保育に取り組んでいきたいと思っています。



あおぞら保育園 園長 神田奈緒美

皆さん、こんにちは。私は平成25年4月より園長に就任致しました、神田と申します。至らぬ者ですが、どうぞ宜しくお願い致します。

あおぞら保育園は定員90名で、大宮駅西口より徒歩12分の住宅街にある、開園11年目の園です。近隣には、桜木四丁目南公園や上落合北公園、水とやすらぎの広場などがあるので園外でも子ども達は様々な活動を楽しんでおります。

本園は開園以来、食育に力を入れており、毎日栄養バランスのとれた色彩豊かなおいしい給食や手作りおやつを提供しています。また、園庭で野菜を育て、収穫の喜びや食材に触れる体験も行っています。収穫した野菜は調理してもらい給食で食べる為、より一層食材の大切さや食べる喜びを実感出来ています。春や秋には副理事長による「魚の解体見学」を行い、旬な魚が三枚におろされる様子を見学します。子ども達は、「かわいそう」「お腹の中から、他の魚が出てきた」など、とても興味を示していました。様々な食育活動の中で、子ども達が食べ物の大切さや、調理してくれる人などに感謝の気持ちが持てるよう配慮しています。食育活動をしている時の子ども達は、みんな目がきらきらと輝いています。食育以外でも、子ども達の創造力が膨らむ製作を取り入れたり、感受性が育んでいけるような保育も行ったりと様々な活動をしています。今後も、子ども達が心身共に成長できるような保育を職員一同で行っていききたいと思っています。



まどか保育園 園長 山本 覚

『家庭保育室まどか保育園』として昭和56年4月に開園以来20年間にわたり、乳幼児の保育という社会福祉事業を通して与野市円阿弥地域に根を下ろしてきました。乳幼児が一番大切な6年間を保育園というもうひとつの家庭(施設)の中で、泣いたり笑ったりしながら健やかに成長していくという、保育事業の大切さを噛みしめながら無我夢中で過ごしてきた歳月でもありました。この間にたくさんの職員との関わりを通して、幾多の乳幼児が入園し巣立っていったことでしょう。

平成13年5月1日、さいたま市の誕生により市域が大幅に拡大し、念願の100万都市となったことを契機に、平成15年4月1日、社会福祉法人「円明会」を設置・運営主体とする新たな『まどか保育園』が誕生しました。昨年、10周年という節目の年を迎え、11年目となる今年度(平成25年度)はさいたま市の待機児童解消の一助となるべく定員を60名〜70名に増加、職員一丸となって新たな気持ちでスタートし、現在にいたっています。

末尾になりますが、まどか保育園は「園児一人ひとりを大切に」を保育理念として、「明るく元気な子」「のびのび自己表現の出来る子」「思いやりのもてる子」の3つの保育目標を掲げて、文字通り『まんまるなえがおあふれる ほいくえん』として地域の皆さまに愛される保育園を目指して邁進していきます。どうかよろしくお願いいたします。



ふたば保育園 園長 遠藤 昭一

当園はJR宇都宮線の東大宮駅より徒歩3分の所に在ります。マンションや商店などが多い地域ですが、周辺には公園が多く点在しておりますので天気の良い日には散歩に出かけます。また幼児クラスは、週1〜2回園バスで「ふたば夢保育園」に行き夢保育園のホールで体操教室やキッズダンス教室を2園合同で行っております。この行き帰りのバスの中は園児の合唱や、しりとりなどをして大はしゃぎで、いつもこの時が大変に楽しそうです。定員60名の小さな園なので家庭的な雰囲気を大切に保育を行っております。星野優美子先生のハッピーニコニコタイムや春日先生ご指導の描画・リズム教室とECCによる英語会話教室などを月に1回取り入れておりますが、来年度はもっと自然と親しむ時間や集中力がアップする囲碁を取り入れようと準備をしております。園舎が鉄筋コンクリートの建物なので屋上を利用して夏はプールや秋には運動会の練習など年間を通してフルに活用して、狭い園庭を補っております。

また園庭の隅にはブドウの木があり毎年美味しいブドウを実らせませすし菜園でトマトやキュウリ、なすやゴーヤなども採れ、給食で調理して、皆でいただいております。

園児の主体性を育み自分の事は自分で決められる子供に育ててほしいので、選択遊びにも、もっと工夫したいと考えています。